

## 平成 30 年度 第 1 回福井市行政改革推進委員会 委員会会議結果

- 1 開催日時 平成 30 年 5 月 30 日（水）10:00～11:45
- 2 開催場所 市役所本館 8 階 第 8 会議室(A)
- 3 出席者
  - (1) 委員 天野準一 委員、井上武史 委員、内山秀樹 委員、奥村清治 委員、黒川俊枝 委員、齋藤万世 委員、澁谷政子 委員、田村洋子 委員、辻武志 委員、富田早苗 委員
  - (2) 事務局 総合政策課
- 4 会議次第
  - 1 開 会（市民憲章唱和）
  - 2 あいさつ
  - 3 議 事
    - (1) 委員長及び副委員長の選出について
    - (2) 「福井市行財政改革指針（平成 29～33 年度）」平成 29 年度取組結果について(報告)
    - (3) 平成 30 年度外部点検対象事業の選定について
    - (4) その他

### 5 協議の概要

事務局	まず、議事(1)委員長及び副委員長の選出について、「福井市行政改革推進委員会規則」第4条により、委員長及び副委員長は、委員の互選により選ぶことになっているので、協議をお願いしたい。
委員	事務局の方に案があるのなら示してもらった方が良いのではないかと。  （「意義なし」との声あり）
事務局	事務局案としては、委員長に内山秀樹委員を、副委員長に田村洋子委員をお願いしたい。  （「異議なし」との声あり）
事務局	事務局案のとおりとし、以降の議事進行は委員長にお願いする。
委員長	それでは、議事(2)「福井市行財政改革指針（平成 29～33 年度）」平成 29 年度取組結果について(報告) について、事務局から説明を。
事務局	【説明】(資料 1-1、1-2、1-3)
委員長	ただいまの報告に対し、質問等はないかと。

委員	<p>目標の上方修正については、さらに高みを目指すということで、良いと思う。一方、今回達成できなかった取組については、この取組のとおりで十分達成できるということで、目標値を変更しないということによろしいか。</p>
事務局	<p>目標値自体は変更せずに、引き続き目標が達成できるように取り組んでいく。</p>
委員長	<p>N o 1 7 のラスパイレス指数や、N o 2 3 の公共施設の管理経費などについては、マスコミ等で報道されていることと直結することなので、後戻りできないというか、積極的に前に進めていかないといけないと考える。</p> <p>他に意見が無いようなので、次に議事 (3) 平成 30 年度外部点検対象事業の選定について、事務局から説明を。</p>
事務局	<p>【説明】(資料 2-1)</p>
委員長	<p>すべてから選ぶとなると選びにくいので、総合計画の 4 つの分野から、今年はこの分野から選定するというふうに議論を進めていくということ Understanding してほしい。続けて説明を。</p>
事務局	<p>【説明】(資料 2-2)</p>
委員長	<p>4 0 事業それぞれについての説明はないのか。</p>
事務局	<p>事務局に都度聞いて欲しい。</p>
委員長	<p>あらかじめ資料には目を通してと思うので、具体的な説明は省くということだと思う。</p> <p>選定のやり方としては、一日 2 事業、二日間を通して 4 事業。もしくは多めに 6 事業を選ぶことになる。</p>
事務局	<p>似ている事業は、一つの点検対象となる。</p>
委員長	<p>似ている事業をセットで見たほうがいいものは、セットにする。点検のときにはセットで報告するので、絶対 8 つを選ぶ必要はない。</p> <p>委員が関心の高い分野、活動している分野で選んでいただければいいと思う。まずは、一覧を見て説明がほしいところはないか。</p>
委員	<p>資料から、予算とか支出についてはわかるが、財源がわかるものはないのか。</p>
事務局	<p>選定の段階なので、事業の規模がわかるくらいで示してある。実際の点検の時には、どのような財源構成になっているかといったことは明瞭にしていきたい。</p>
委員	<p>去年やっていた事業が今年いきなりなくなったという話も聞く。事業の必要性</p>

	<p>や重要性などから各部署で事業の取りやめ等も行っていると思う。</p> <p>点検候補事業として選ばれた基準はなにか。</p>
事務局	<p>昨年度から、第七次福井市総合計画の主要な事業を点検している。その中から、新規事業、既に終了した事業、ハード関連事業、義務的な事業を除いて残ったものが120事業である。事業は4つのパートに分かれており、このうち今回は住みよいまちの40事業が点検対象である。総合計画の主要な事業であるので、ここから事業がなくなることはない。</p>
委員長	<p>主要な事業ということだ。</p>
事務局	<p>外部点検の点検候補事業は、総合計画実施計画の主要な事業であり、市のすべての事業を網羅したものではない。昨年に、5年間の進め方を検討していく中で、4つのパートを一年ずつ点検し、最終年に総括していくということになった。</p>
委員長	<p>主要事業でも、成果や事業効果がどうかというのもあるし、もっとよくしたいという視点もあるだろう。両方酌めるといい。</p>
委員	<p>何年か前には、少ない予算の事業は点検対象からはずすといったこともあった。</p> <p>よく似た事業は一つにして点検するとのことだが、担当部署が同じだといえけれども、担当部署が違うときはどうするのか。</p>
事務局	<p>予算が小さいものも点検対象として上がっているので、その事業が大切だということであれば選んでもらうこともできる。</p> <p>よく似た事業については、事業を選んだ後に、ほかに似ている事業があれば、あわせて点検してもらうことも可能である。</p> <p>柔軟に対応していきたい。</p>
委員長	<p>行政サービスを受ける市民の視点に立って、担当部署が違っても一つの事業ではないかと思われるものがあれば一つで点検できるということだ。</p> <p>地域ぐるみで行う高齢者支援への事業が一覧にない。</p>
事務局	<p>昨年度の点検対象で、多機能よろず茶屋設置事業がある。</p>
委員	<p>N○19の地区敬老事業やN○17のひとり暮らし高齢者福祉サービス事業、N○18の自治会型デイホーム事業、N○21のシルバー人材センター支援事業があるが、事業内容に具体性がないので、なんでも含まれるような感じがする。どういったことを指しているのかわからない。</p>
事務局	<p>地区敬老事業については、地区敬老事業補助金の交付事業ということで敬老会</p>

	事業の活動にかかる経費の一部に補助をしている事業である。また、意見交換会等を行っている。
委員	補助金を交付するだけということか。
委員	地区の敬老会の事業に補助をするということ。
委員	うちの地区では年に1回開催されているだけ。欠席することもあり、少しどうかと思う。
委員	80歳を対象としたものとか、70歳を対象としたものとか敬老会にも色々ある。
事務局	それも市民の方の貴重な意見である。そういった視点からも見ていただければよいと思う。
委員	そうであれば、他の事業と一緒にやっていただいてもいいのではないか。
委員長	地区レベルの団体に補助をするだけの事業は、長年続いてマンネリ化しているものもある。はたして意味があるのかということもある。他の事業とセットにして、セットの中のパートごとに見ていくためにも事業を点検事業としてノミネートさせていく。地区敬老事業だけを見るということはない。プラスアルファで見えていく。
委員	地区敬老事業の補助金について、補助金を受ける団体は地区によって違うのか。
委員長	地区によって補助金を受ける団体が違うのかということか。
委員	例えば、松本地区では2箇所に補助金がいっている。地区によってそういうわけ方をしているのか。
事務局	事業実施団体に対して補助をすることになる。
委員	No32の要支援者対策事業は、福祉関係の独居老人や障がい者支援とかのくりに近いのではないか。
事務局	この事業は、危機管理からの切り口と、福祉からの切り口があり、現在は危機管理からの切り口として所管を決め、福祉と連携している。避難支援を必要としている方をどうケアしていくのかといった事業になる。
委員	福祉部門でやると、ひとまとめでできる。危機管理室でやるから毎年自治会長

	<p>や福祉委員が要支援者かどうか聞いて回ることになる。社会福祉協議会関係でも同様である。</p>
委員長	<p>どちらかでやって、行政内できちんと共有してもらえばいい。</p>
委員	<p>何かあったときにどうするのかということがわかればいい。</p>
委員	<p>社会福祉協議会の会議に出席すると、最近は個人情報に厳しいということを知っている。市なら個人情報をもっているのだから、それを参考にしてやってほしい。</p>
委員	<p>No 38の空き家対策事業の空き家の話は、去年も候補に上がっていたのではないかな。</p>
委員長	<p>今回は防犯という観点からであるが、それは除いてもいいだろう。</p> <p>防災については、いかに地域の防災力を高めるかという視点で、事業を取り入れる必要があるのではないかなと思う。今大きな地震があるということもあり、そういう視点は必要だと思う。</p> <p>災害時の市民活動のあり方どうするのか。今回のような大雪の場合では出社しないということが市民の中で合意としてあれば、大きな問題もなかったのではないかな。出社しないと、企業の経済活動に支障をきたすということにもなる。そういうことを考える必要がある。そうすると防災・防犯はテーマの一つになるのではないかな。</p>
委員	<p>参考までに、去年はどういったことを点検したのか教えて欲しい。</p>
事務局	<p>まちなか賑わい創出事業、民間によるまちなか活性化活動支援事業、居住推進支援事業（まちなか住まい支援事業）、居住推進支援事業（空き家ストック循環利用推進事業）、居住推進支援事業（移住定住サポート事業）、コミュニティバス事業、地方バス路線等運行維持事業、地域コミュニティバス運行支援事業、多機能よろず茶屋設置事業、景観推進事業、景観支援事業である。</p>
委員	<p>昨年、外部点検を行って、点検内容はどう反映されたのかな。</p>
事務局	<p>昨年は、いろんな事業でデータが不明確という指摘が共通してあった。データがわからないと誰に対して事業をやっていくかというターゲットが絞れない。データを収集して、分析して、かつ効果的に情報発信するということが必要。そういう御意見は担当課に伝えて、本年度の取組に反映されている。</p> <p>例えばすまいるバスについては、アンケートを実施するなどデータを収集し、今後分析して見直すこととしており、そういう形で所属は委員の意見を事業に反映している。</p>
事務局	<p>点検後に、委員からの意見を持ち帰り、来年度の当初予算に反映できるものは</p>

委員	<p>している。3月の委員会の中で結果を報告する。</p> <p>事業を選定する上で、どういう目標があって、どういう事業なのかという、もう少し深い事業の内容が知りたい。</p> <p>また、先ほど質問できなかったが、達成している数値目標が多いことに驚いた。目標の立て方がそれでよかったのか。目標に掲げている数値の設定は適当だったのか。</p>
委員長	<p>行財政改革の取組結果と外部点検の違いも含めて説明してほしい。</p>
事務局	<p>点検対象事業が決まったら、事業の詳細な内容がわかる資料を用意する。その後8月の外部点検では、担当課とヒアリングをする。担当課にはどんな数値目標をもって、どういう理由で目標が設定され、達成されたのかということについても資料に記載してほしいと伝える。</p> <p>行政としては、どのように数値目標を管理しているかということ、毎年部局マネジメント方針で管理している。すべてが数値化できる目標ではないが、市としてはそういう方法で管理している。</p>
委員	<p>似た事業をひとくくりで点検するというのもできるということによいか。</p>
委員長	<p>よい。</p>
委員	<p>分類ごとに選ばなくてはならないか。</p>
委員長	<p>分類にはこだわらなくてもよい。</p> <p>投票用紙を配布する。</p> <p>(投票用紙配付)</p>
委員長	<p>投票用紙には8枚あるが、8枚すべてを埋める必要はない。</p> <p>(投票) (開票)</p>
委員長	<p>開票の結果、8事業を超えている。統合できるものについては統合してもいいかと思う。</p> <p>No 1の輝く女性の未来予想図事業。No 6のボランティア活動支援事業。ボランティア活動は市民協働と密接に関係している。私の意見としてはNo 6とNo 7の市民協働推進事業はセットでもいいと思う。</p> <p>No 11の市民憲章推進事業は、もっと活かすべきだという意見なのかと思う。</p> <p>子どもの見守りということで、No 15の放課後児童健全育成事業。</p> <p>No 17の一人暮らし高齢者福祉サービス事業とNo 18の自治会型デイホーム事業はセットでよいと思う。担当課も同じである。</p>

	<p>№ 21 のシルバー人材センター支援事業は高齢者の担い手育成ということだが、高齢者福祉として関係はするが、どういう視点で見るかということで、一緒にすることはできないと思う。</p> <p>障がい者支援ということで、№ 22 の地域生活支援事業と№ 23 の障がい者等雇用促進事業があるが、障がい者の自立した生活とか、母子家庭の支援とあるので、一緒にするには難しい。</p> <p>№ 26 の街路樹管理事業。街路樹事業は予算もかなり必要になる。一方で市民の理解と協力も必要で重要な話である。</p> <p>№ 29 の環境教育・普及事業はかなり幅が広い。</p>
委員	<p>№ 29 と№ 24 は近いのではないかな。</p>
委員長	<p>防災関係では、№ 31 の自主防災組織支援事業と№ 32 の要支援者対策事業。自主防災組織は災害時にこの組織が機能するかしないかでかなり地域のダメージが違う。近い内容、同じ担当課ということでセットにしてもいいかと思う。</p> <p>№ 25 の福井市まち美化パートナー制度推進事業はどのような事業か。</p>
事務局	<p>河川とか公園とかの里親制度である。</p>
委員長	<p>№ 25 はこれだけで。</p>
委員	<p>№ 24 とセットにできるのではないかな。</p>
委員長	<p>№ 29 の環境教育については人材育成の成果と効果。これからの福井の地域社会を担う子どもたちに、意味がある、効果があるものかどうかという視点でみるのも重要である。</p> <p>№ 1 の輝く女性の未来予想図事業は一つということによい。</p> <p>№ 6 と№ 7 はセットで。市民協働とボランティアのセクションがここでは同じ。違うものとして目に映るが、行政の扱いでもっと近づいてもいいかと思う。</p>
委員	<p>市民協働推進事業は市職員もかかわる。ボランティア活動支援事業は市民活動を対象にしている。</p>
委員	<p>クロスする部分がある。</p>
委員長	<p>市民協働推進事業の職員研修が先に来ると意味合いがおかしい。市民活動をより進めるために職員研修をするということか。</p>
委員	<p>あわせてやるのが本来。</p>
委員長	<p>№ 11 の市民憲章推進事業はどんな視点からか。</p>

委員	市民憲章推進事業は見たことも触れたこともないので、どんなことをやっているのか。
事務局	具体的には花いっぱい運動などがある。
委員長	市民憲章の見直しがされてきている中で、そういった活動の見直しがされてきているのかという視点はある。
委員	花いっぱい運動はN o 2 5とか、去年点検した景観支援事業とかに入ってくるものだった。ここに入ってくるのはどうか。
委員	市民憲章は熱心に活動する地区とそうでない地区がある。
委員	市民憲章を知らない人もいる。
委員長	目的は郷土愛を育てるということ。果たしてそれに繋がっているのかどうか。
委員	市民憲章は運動会とかで唱和しているのを聞いてよいと思った。地域に活動が広がればよいと思う。
委員長	子育ての問題ということで、N o 1 5はこれだけで。関連したものは、N o 1 4のすみずみ子育てサポート事業になりそうだ。
事務局	一時的に子どもが見られない人に活用して欲しいというものである。
委員長	性格がちがう。
委員	N o 1 6の地域子育て支援委員会支援事業との違いは。
事務局	放課後児童育成健全育成事業は、留守家庭の児童に対して、地域子育て支援委員会支援事業は地域で子育てするということで、公民館単位で活動している。
委員長	N o 1 5は一つで。
委員	N o 2 4とN o 2 9はまとめる。
委員長	N o 2 4とN o 2 9はまとめるということでよさそうだ。 街路樹関係は関心が高いところだ。シルバー人材も予算的にはある。障がい者等雇用促進事業もある。街路樹かシルバーか障害者か。街路樹も捨てるのが難しい。 投票数が多いので、シルバー人材センター支援事業でよろしいか。  (「はい」との声あり)

委員長	では、シルバー人材センターで。 次に、これをどのグループでやるかということ。
委員	N o 1 7 と N o 1 8 に対象所属が同じなので、N o 1 9 の地区敬老事業もくっつけてほしい。予算規模も大きい。
委員長	N o 1 7、N o 1 8 にN o 1 9 もいれるということ。 では、事業のグループ分けを。
委員	シルバー人材センター支援事業とN o 2 0 の介護サポーターポイント制度を一緒にできないものか。
委員	また、別のものになる。
委員	N o 1 1 は担当からはずしてほしい。
委員長	これが選ばれた8つである。 「N o 1 輝く女性の未来予想図事業」。
委員	女性の委員が3人いるので、Bグループがよい。
委員長	「N o 6 ボランティア活動支援事業」、「N o 7 市民協働推進事業」となると、詳しい委員がいるAグループ。 「N o 1 1 市民憲章推進事業」はBグループ。 「N o 1 5 放課後児童健全育成事業」も詳しい委員がいるAグループ。 「N o 1 7 ひとり暮らし高齢者福祉サービス事業」、「N o 1 8 自治会型デイホーム事業」、「N o 1 9 地区敬老事業」は、詳しい委員がいるほうがよいか。
委員	先ほどの委員と同じで、はずしてもらえるとやりやすい。
委員長	そうすると、N o 1 7 からN o 1 9 はBグループに。 「N o 2 1 シルバー人材センター支援事業」はAグループでよろしいか。 「N o 2 4 自然環境保護・活用事業」、「N o 2 9 環境教育・普及事業」は、お子さんを持つ委員がいるのでリアルな目で見るということでBグループ。 「N o 3 1 自主防災組織支援事業」、「N o 3 2 要支援者対策事業」はAグループ。 まとめると、Aグループは、「N o 6 ボランティア活動支援事業」、「N o 7 市民協働推進事業」、「N o 1 5 放課後児童健全育成事業」、「N o 2 1 シルバー人材センター支援事業」、「N o 3 1 自主防災組織支援事業」、「N o 3 2 要支援者対策事業」。 Bグループは、「N o 1 輝く女性の未来予想図事業」、「N o 1 1 市民憲章

	<p>推進事業」、「No17 ひとり暮らし高齢者福祉サービス事業」、「No18 自治会型デイホーム事業」、「No19 地区敬老事業」、「No24 自然環境保護・活用事業」、「No29 環境教育・普及事業」。</p> <p>事業のくくりの面でおかしいところはないか。大丈夫か。</p> <p>（「大丈夫」との声あり）</p>
委員長	<p>何かほかはないか。</p> <p>それでは、議事（4）その他ということで事務局から説明を。</p>
事務局	<p>【説明】（資料3）</p>
委員長	<p>よろしいか。</p> <p>8月の外部点検だが、福井市の財政状況もあり、かなりシビアな目線になると思う。ただ、削るだけではなく、ブラッシュアップして事業効果を最大限引き出すということでお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">（11:45 終了）</p>